

# 道づくりだより

第48号

2012.2 島根県道づくり調整会議



赤壁(知夫村)



一般県道 知夫島線 郡工区

## Contents

1. 一般県道 知夫島線 郡工区  
～つながる未来～ 交差点改良による地域の安全性の向上 (道路建設課)
2. 第二浜田ダムの建設に伴う付替県道の一部供用開始について  
(一般県道 黒沢安城浜田線) (浜田河川総合開発事務所)
3. 邑智中央農道が全線開通します (農地整備課)
4. 「道路ふれあい月間」推進標語を募集します! (道路維持課)
5. 山陰道の3区間が平成24年度新規事業化予定箇所に  
(直轄事業の事業計画) (高速道路推進課)





# 一般県道 知夫島線 郡工区 交通安全事業

～ つながる未来 ～ 交差点改良による地域の安全性の向上

## 1. はじめに

郡工区(隠岐郡知夫村郡地内)の交差点付近は役場、小中学校、商店街が位置する知夫村の中心街です。しかしながら、幅員が狭く、見通しが悪いため、歩行者・自動車の通行に危険な状況となっていました。そこで、安全で円滑な交通を確保し、事故の防止を図るため交差点改良を計画し、このたび工事が無事に完成しました。この整備により、沿線地域の安全性・利便性の向上はもとより、地域の産業や観光の振興に大きく貢献できるものと期待されます。

## 2. 事業の概要

事業期間 平成21年度 ～ 平成23年度  
 道路規格 第3種4級 設計速度 V=20km/h  
 道路幅員 6.5m(車道2.75m×2 路肩0.5m×2)  
 工事概要 交差点改良

隠岐支庁県土整備局  
(島前事業部)



施工箇所



整備前



整備後

道路の安全性、快適性が向上しました

車両の離合が容易になりました



整備前



整備後

交差点付近の見通しの確保により安全性が格段に向上しました

## 3. 現場の取組み 声

### より良い『ものづくり』のための工夫

設計・施工に際するさまざまな問題点を解決するため『設計・施工技術力向上推進委員会』に議題を提案し議論を行いました。

- 例1 知夫島内には生コンプラントがない  
⇒極力2次製品を使用する計画とした
  - 例2 砂防指定河川での施工(上流約50mにえん堤有)  
⇒地形的条件(河床勾配が1/100より緩い)を考慮し、河川の流水断面を計画
  - 例3 知夫村の中心街、小中学校前での施工  
⇒小中学校を対象とした説明会を開催。学校行事等を把握し、工程に反映  
⇒商店街、民家隣接のため、排水効果の高いスリットタイプの側溝蓋を採用
  - 例4 迂回路の無いバス路線、観光路線  
⇒交通開放を急ぐため構造形式をボックスカルバートとした
- 結果、ワークショップ形式による複数の視点を持ち込み議論を行うことにより設計・施工の向上を図ることが出来た。

～ワークショップ検討会～  
白熱した発表状況と当時の機関紙



～説明会～  
机上と現場での説明状況





## 第二浜田ダムの建設に伴う付替道路の一部供用開始について (一般県道 黒沢安城浜田線)

第二浜田ダムは、浜田川の河口から6.5kmの位置に建設する治水専用ダムであり、平成21年3月に本体建設工事に着手し、昨年10月より本体コンクリートの打設を開始しています。

このたび、第二浜田ダムの建設に伴い水没することとなる一般県道黒沢安城浜田線の付替工事うち約1.8km区間について、接続する浜田市道とともに昨年12月1日より供用を開始しました。

また、これに併せ浜田市三階町地内の福永橋から浜田ダムの間の全面通行止めを解除しました。

引き続き、全線開通に向け工事を進めていきますので、ご協力いただきますようお願いします。



第二浜田ダム完成予想図



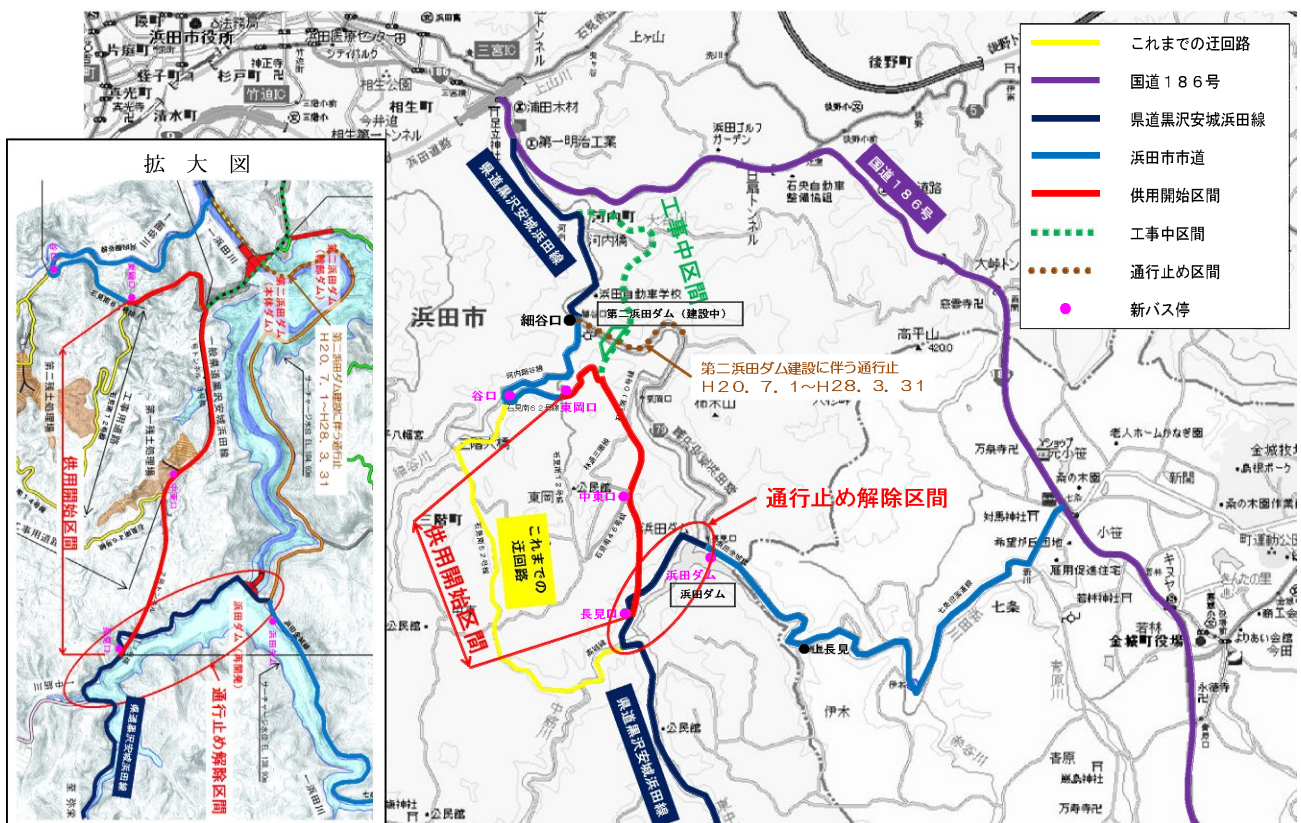
第二浜田ダム 現在の状況



供用後の状況

付替県道黒沢安城浜田線は、浜田市三階町と浜田市相生町を結ぶ全長約3.2kmの一般県道黒沢安城浜田線のうち、第二浜田ダムの建設に伴い付け替えることとなる約5km(うち水没区間約2km)について、県道としての代替機能の確保のため整備するものです。

整備にあたっては、現道幅員が4~5m程度と狭小なことから車道幅員5.5mの二車線道路として、平成7年度に事業化し、平成11年度より工事に着手しました。



供用開始区間及び通行止め解除の範囲



# おおちゅうおう 邑智中央農道が全線開通します

平成5年度から整備してきた邑智中央農道が、この春全線開通するので紹介するよ～。 ※開通は3月の予定です。



『しまねの農業農村整備すごろく』  
キャラクター ドジョウのどうじよ君

本地域は邑智郡美郷町の北西部に位置し、水稻を中心とした山間農業地域です。これまで、農産物の集出荷や通作において町道や国道を利用するなど大きく迂回する必要があり、また、未改良で幅員が狭い区間があることから非常に不便な状況でした。

これを解消するため、本農道の整備を平成5年度から始め、このたび完成の運びとなりました。本農道の整備により、美郷町別府地内の国道375号と吾郷地内の主要地方道川本波多線を結ぶ農道網が完成することになり、農産物の集出荷や通作に係る労力・経費の節減、輸送時間の短縮などによる農業生産性の向上はもとより、集落間の交流促進も期待できます。



## ○事業概要

事業名：一般農道整備事業  
地区名：邑智中央地区  
工期：平成5年度～  
平成23年度  
延長：3,515m  
幅員：全幅員5.0m  
車道幅員4.0m

## ○農道の様子



奥山側から望む



志君側から望む

# 「道路ふれあい月間」 推進標語を募集します！

国土交通省では毎年8月を「道路ふれあい月間」とし、道路の正しい利用や道路愛護活動の推進に努めており、この一環として、平成24年度「道路ふれあい月間」の推進標語を募集しています。

道路は、国民の日常生活や経済活動に欠くことのできない基本的な施設ですが、あまりにも身近な存在であるため、その重要性が見過ごされがちです。

そこで、この推進標語の募集を通じて、改めて道路の意義・重要性について考えて頂くことを目的としています。なお、入賞作品は、「道路ふれあい月間」の推進に幅広く活用させていただきます。

## ～ふしぎだね この進歩くと ほっとする～

平成23年度「道路ふれあい月間」推進標語 最優秀作品 香川県 田村 茉莉花 さん 8歳（小学生の部）

### 募集テーマ

道路は、生活の向上と経済の発展に欠くことのできない国民共有の、つまりあなたの財産です。みんなが道路と親しみ、ふれあい、常に広く、美しく、安全に、共に楽しく利用し、子孫に受け継いでいきましょう。

### 募集要領

- ・ 応募資格 小学生以上の方から応募できます。
- ・ 応募方法 1人何作品でも応募できます。  
〈はがきによる応募の場合〉  
官製はがき1枚に、標語1点と氏名・住所・電話番号・性別・年齢・職業（「小学生」、「中学生」、「一般（高校生以上）」の別）を記入のうえ郵送してください。  
送付先：〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3  
国土交通省道路局道路交通管理課 標語担当あて  
〈パソコン、携帯電話の電子メールによる応募の場合〉必要事項を記載の上 dourohyogo24@mlit.go.jp に送信してください。  
※電子メールの場合にも1メールにつき1点で応募してください。  
〈学校単位での応募の場合〉生徒の作品をとりまとめのうえ、封書又はファイルを添付した電子メールによる一括応募ができます。また、氏名、住所等の必要事項は、学校のものとすることができます。
- ・ 応募期間 平成24年3月30日（金）まで（当日必着）
- ・ その他 入賞者には直接通知するとともに、国土交通省ホームページや機関誌等で発表します。「道路ふれあい月間」の期間中に主催者である国土交通省から賞状及び盾を贈呈します。
- ・ お問い合わせ先

国土交通省道路局道路交通管理課 03-5253-8111（内線37423） [dourohyogo24@mlit.go.jp](mailto:dourohyogo24@mlit.go.jp)

詳しくは→ [http://www.mlit.go.jp/report/press/road01\\_hh\\_000235.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_000235.html)



山陰道の3区間が平成24年度新規事業化予定箇所に（直轄事業の事業計画）

直轄事業の2月時点における、平成24年度事業計画が国土交通省中国地方整備局より公表され、山陰道の湖陵・多伎道路、大田・静間道路、三隅・益田道路の3区間が平成24年度新規事業化予定箇所として明示されました。また、島根県の高速道路で供用年次が示されている区間は下記のとおりです。（ただし、事業進捗等により今後変更される場合があります。）

○中国横断自動車道

尾道松江線	吉田掛合 IC～三刀屋木次 IC	L=12.3 km	平成24年3月24日供用予定
	三次 JCT・IC(仮称)～吉田掛合 IC	L=48.7 km	平成24年度供用予定
	吉舎 IC(仮称)～三次 JCT・IC	L=10.3 km	平成25年度供用予定
	世羅 IC～吉舎 IC(仮称)	L=20.4 km	平成26年度供用予定

○山陰道

仁摩・温泉津道路	湯里 IC(仮称)～福光 IC(仮称)	L=5.9 km	平成25年度供用予定
	仁摩 IC(仮称)～湯里 IC(仮称)	L=5.9 km	平成26年度供用予定

浜田・三隅道路	熱田 IC(仮称)～西村 IC(仮称)	L=8.1 km	平成26年度供用予定
湖陵・多伎道路		L=4.5 km	平成24年度新規事業化予定
大田・静間道路		L=5.0 km	平成24年度新規事業化予定
三隅・益田道路		L=15.2 km	平成24年度新規事業化予定

